

参考文献

- (1) 中央防災会議(2001):「東海地震に関する専門調査会」第10回関連図表2,6p,12p,内閣府.
- (2) 中央防災会議(2002):「東南海,南海地震等に関する専門調査会」(第5回)図表集,pp.34-37,内閣府.
- (3) 土木学会岩盤力学委員会(1998):岩盤上の大型構造物基礎,44p,社団法人土木学会.
- (4) 今津雅紀・福武毅芳(1986):砂礫材料の動的変形特性,pp.533-536,第21回土質工学研究発表会.
- (5) 気象庁監修(1996):震度を知る,pp.49-55,株式会社ぎょうせい.
- (6) 三村弘二・柴田 賢・内海 茂(1994):黒富士火山と甲府盆地北方に分布する火山岩類の火山活動とK-Ar年代,89,pp.15-20,岩鉱.
- (7) 若松加寿江(1991):日本の地盤液状化展開図,341p.東海大学出版会.
- (8) 童華南・山崎文雄(1996):強震動強さ指標と新しい気象庁震度との対応関係,pp547-550,生産研究,48巻11号.
- (9) 山県守・栗野純孝(1984):岩盤分類の実例 橋梁基礎(風化花崗岩),93p,岩盤分類(応用地質特別号),日本応用地質学会.